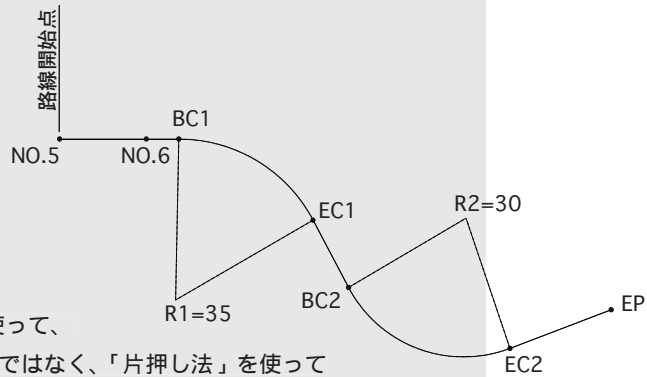


土木測量で、「IP座標」の無い路線の作図方法について

測点	単距離	半径
No.5	20.00	
No.6	7.50	
BC1	38.00	R1=35.0 (右)
EC1	17.60	
BC2	43.50	R2=30.0 (左)
EC2	25.00	
EP		



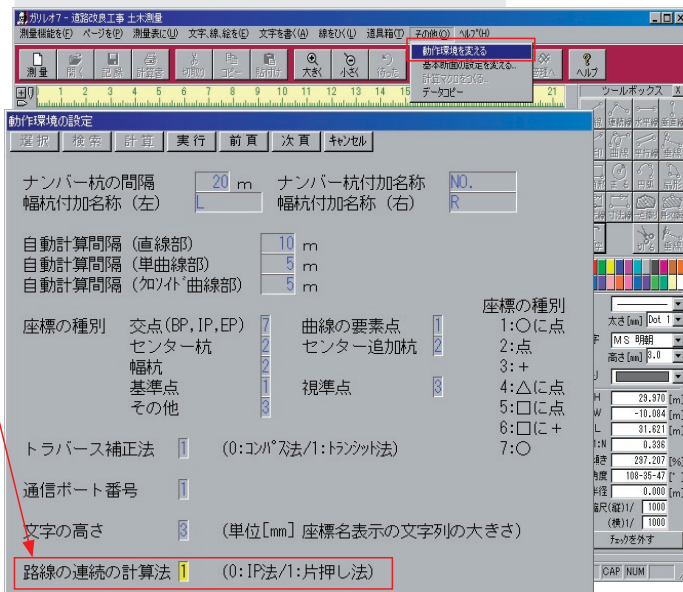
上記のように座標の無いデータを使って、
 路線計算をおこなうには、「IP法」ではなく、「片押し法」を使って
 おこなう方法があります。それでは、ガリレオの「片押し法」を使った操作手順を上記のデータを例に進
 めてみましょう。

1. 計算方法を「IP法」から「片押し法」に変更する。

測量画面で、画面上の
 「その他」メニューをクリック。
 メニューの中の「動作環境を
 変える」をクリック。

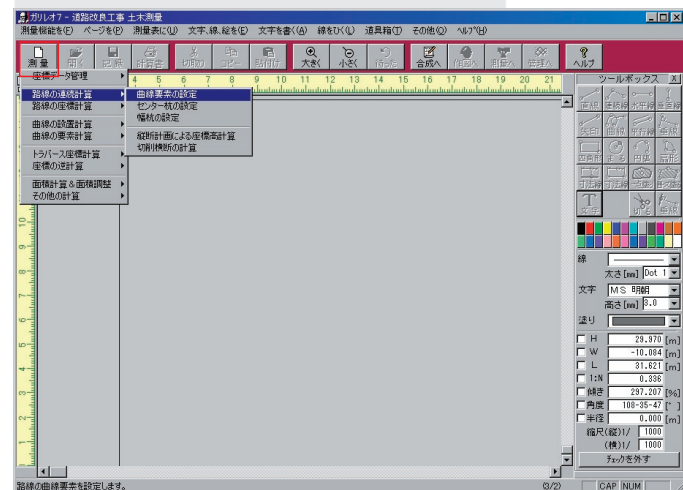
「動作環境」画面が表示され
 たら、画面下の「路線の連続
 計算法」を「1」（片押し法）
 に変更して「実行」ボタンを
 クリック。

一度、ガリレオを終了して、
 再度、ガリレオを立ち上げな
 ます。



2. 測量画面で、曲線要素を
 「片押し法」を使って入力します。

画面上の「測量」ボタンをク
 リック、「路線の連続計算」、
 「曲線要素の設定」をクリック。



3. 曲線要素の入力画面で、「片押し法」に沿った入力をおこなう。

No.0 から路線の開始点までの追加距離（ここでは、開始点が

No.5 なので「100m」

開始点は「No.5」

開始点の座標は無いので、ここでは、「0,0」と入力。

方向角は、例題の路線図では、水平なので、「90」と入力。

最初の通過点「No.6」と「No.5」の単距離「20m」

半径は、「0」（直線なので）

点名は「No.6」

次の点は、カーブの開始点なので、単距離「7.5m」、半径は直線なので「0」、点名は「BC1」

次の点は、カーブの終了点です。単距離「38.0m」、半径は「35m」、点名は「EC1」

（カーブが左旋回の場合は、半径をマイナスで入力します）

・・・上図を見ながら、入力してみてください。

4. 「実行」ボタンをクリックすると路線図が書けます。

5. あと、センター杭の設定、幅杭の設定は、「IP法」でおこなった操作と全く同じです。操作手引書を参考にして操作してみてください。

